

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>



NPO法人より送られた文房具を持って(ザンビア)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

今、私はこのニュースレターを執筆しているのが4月中旬ですが、下旬には2024年度の働きにむけての理事会が行われる予定です。

新年度に向けての活動を検討する時となりますが、世界に目を向ければ、私共のこの働きの必要性は増すばかりであることは容易に知るところとなります。

ロシアとウクライナの戦闘だけではなく、中東ではその戦火は拡大するばかりであります。

ニュースでは地下壕に避難する方々の映像を見ることが出来ますが、ふと、子供達は大丈夫だろうか、親御さんたちは無事なのか、と思ってしまう。仮に、今すぐ戦闘が終結したとしても、家族が無事な子供達がどれ程いるのか、助けを必要とする子供達はどれだけいるのか、その助けはどうするのか、と思うと、微力かもしれませんが、やはり私共のような働きが必要となってくるのだろうと痛感させられます。

しかし、既存のカンボジア、ザンビア、フィリピンの働きも広がってきており、必要な経費も増しています。

いつも最後は同じ言葉になってしまい、大変恐縮ですが、これからも皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。カンボジアの正月はクメール暦により4月です。先日は、以前孤児院でスタッフとして働いていた夫妻から、収穫したばかりのマンゴーやジャックフルーツが送られてきました。旬の美味しい果物を食べて、暑さも和らぐ感じて本当に感謝でした。子ども達に通っている学校は2週間のお正月休みに入りました。休みに入る前に、幼稚園では運動会が行われて、SVが楽しく参加することが出来ました。また、3月に行われた高校生達の前期試験を受けた2人の子ども達は無事に合格出来たそうです。小学生達の前期試験は、お正月休みが明けて5月に入ってからと聞いています。休みの間も、子ども達は時間を取ってスタッフ達と学ぶ時を持っています。また、お正月が近くなると、孤児院を巣立った子ども達が数人顔を出してくれたり、差入れを持って来てくれたり、彼らの近況を知ることも出来嬉しいひと時でもあります。カンボジア孤児院の毎月の運営費の不足が続いていますので、カンボジア孤児院指定ということで皆様にご支援をお願いできれば幸いです。どうぞ、よろしくお願致します。



果物で1番大きいと言われているジャックフルーツです!

## フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援を心から感謝致します。2023年~2024年の学期はパンデミック後、始めから全面的な対面授業となり、子どもたちは大興奮でした。今学期も残すところ2ヶ月となり、子どもたちは長い休みに入るのを楽しんでいます。今学期、様々な状況が起こりましたが、特に気温の上昇で、子どもたちが教室で授業を受けることが困難になり、教育省は学校の授業をしばらくの間中止しました。また暑さのために咳や風邪、ウイルス性の目の病気にかかった子どもたちも多かったです。珍しい病気ではありませんが、コロナの後、人々は感染症に対して非常に恐れを持つようになり、今でもトラウマになっているようです。その中で、就学支援生たちは守られて、将来の夢に向かって、毎日熱心勉強しています。皆様のご支援により、就学支援生たちに良い環境が与えられていることを心から感謝しています。来年度は34名の子どもたちの就学支援を行う予定です。そのための学校登録料や授業料、制服や文房具等の学用品代として総額\$7,349.82(約110万円)が必要です。子どもたちが引き続き学校での学びを続けられるように、皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



子どもたちが勉強を続けられるよう皆様のご支援をお願いいたします。

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます!先月より干魃による1日8時間の停電が生活の中に溶け込んでいます。相変わらず一滴の雨も降らず、中等学校の地面にもひび割れが目立つようになってきました。自給自足の生活を営んでいるはずの農民達が、何時間も自転車を漕いで、都市部のスーパーマーケットに主食のトウモロコシ粉を買いに来ている姿を見るようになりました。それでもここ数年の価格の上昇で、諦めて手ぶらで帰っていく農民達もいるそうです。おそらく来月には停電が一日12時間に延長されるのではと予想されています。水の確保や、携帯、冷蔵庫にも大きな影響が出て、ザンビア全体の経済にも大きな打撃が生じ、それに伴って治安が悪化していくので、今から注意喚起がなされています。そんな中でも、3月末中には日本の大学生が5ヶ月の予定でインターンとして加わり、小中高等学校で活躍してくれています。今後の様子も、インスタグラムやFBを通して、彼の目を通したものを日々発信していく予定です。どうぞ引き続き中高等学校の建設完成のために必要な5千万円含め、皆様のご継続したご支援をよろしくお願いいたします。



政府からトウモロコシ粉が破格の価格で放出された日、大勢の村人たちが自転車で購入に来ていた

## 松本弘子さんのイラスト



カンボジアの前田さんと子ども達